

令和5年11月市議会定例会が11月27日に開会され、市長が行政報告を行いました。  
このページでは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

## 市長から

現在国においては、次元の異なる少子化対策の実現のため、本年6月に「こども未来戦略方針」を決定し、「若い世代の所得を増やす」「社会全体の構造・意識を変える」「すべてのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」の3つを基本理念として掲げ、具体的な施策として児童手当の増額や、育児休業手当の増額などが示されています。

本市においては、すでに少子化・子育て支援策として、「子育てを楽しむならせとうち」を掲げ、令和3年度から、出産・子育て費用の補助、また高校生までの医療費の無償化、育児用品購入補助など、13種類の独自施策を実施しています。この取り組みの効果や民間の宅地開発の影響もあ

り、近年子育て世代の転入者が増加しています。

一方で、国の基準での待機児童数は少数であるものの、希望する保育園に入ることができない子どもは増加しています。また、放課後児童クラブは、すでに定員数に達しているクラブも出ています。

このため、現在新たな保育施設や放課後児童クラブの整備について検討を進めています。市では、今後も子育て世代に選ばれるまちを目指して、保育施設などの施設整備を進めるとともに、国の施策では手の届かない、子育て世代が希望するきめ細かいサービスを提供していきます。

### 複合施設「ゆめトピア長船」の設置

現在改修中のゆめトピア長船を、長船町公民館、長船図書館および文化センターで構

成する複合施設として設置します。複合施設とすることで、社会教育法により制限されていた施設利用が可能となります。構成施設相互の連携を図り、市民の福祉増進、教育および文化の発展に努めます。

### ゼロカーボン施策

市では、ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた脱炭素の取り組みを効果的に行うため、環境省の交付金事業である重点対策加速化事業と脱炭素先行地域づくり事業に取り組んでいます。

重点対策加速化事業については、一般家庭への太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車等の導入に係る補助金交付申請の受付を6月から開始しています。申請受付の件数は、10月末現在、太陽光発電設備100件、蓄電池76件です。



また、脱炭素先行地域づくり事業では、市内の再生可能エネルギーの普及と電気エネルギーの地産地消を進めるため、地域電力会社の設立準備を進めます。

### 人と猫が幸せに暮らせるまちづくり

飼い主のいない猫の不妊去勢手術を進めることにより、無秩序な繁殖や、猫による糞尿被害などのトラブルを予防して、地域と飼い主のいない猫の共生を図るため、本市では、飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術に対する補助金を交付しています。

これまで多くの自治会やコミュニティが、地域猫活動として取り組んでおり、令和4年度は303匹、今年度は10月末時点で195匹分の不妊去勢手術費用を助成しています。この取り組みにより、飼い主のいない猫に関するトラブ

ルも大きく減少しており、これまで実施されていない地域にも広がりがつつあります。来年度以降も、この取り組みを続けていくために、10月から4回目のクラウドファンディングを実施しています。実施期間は令和6年1月27日までとしています。

### 新火葬場整備

新火葬場整備事業については、火葬場敷地造成に係る土木工事（第3期）として、現在、道路舗装や造成の仕上げ工事を進めています。令和5年10月末時点の進捗率は67%となつています。岡山ブルーラインの交通安全確保のための交通規制の増加などにより、遅れが生じています。これにより、土木工事の工期延長が必要となるため、今議会に変更契約の議案を提出しています。

建築工事の関係では実施設計が概ね完成しており、現在、建築確認の審査手続きに入っています。全体のスケジュールに影響が出ないよう、土木工事と建築工事の施工調整を行います。

### 不登校児童生徒への対応

10月17日に、令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果およびこれを踏まえた緊急対策について、文部科学省から通知がありました。国公立、私立の小・中学校の不登校児童生徒数、学校内外で相談を受けていない児童生徒数、90日以上欠席している児童生徒数がいずれも過去最多でした。

本市では、令和3年度と比較して4年度は、小学校でわずかに減少、中学校ではほぼ同等の出現率でした。また、同通知では、不安や悩みを相談できない子どもたち

の不安や悩みが従来とは異なり、近年子育て世代の転入者が増加しています。一方で、国の基準での待機児童数は少数であるものの、希望する保育園に入ることができない子どもは増加しています。また、放課後児童クラブは、すでに定員数に達しているクラブも出ています。

なる形で現れたり、一人で抱え込んだりする可能性なども考慮し、引き続き周囲の大人が子どもたちのSOSを受け止め、組織的な対応を行い、外部の関係機関などとも積極的に連携して対処するなどのきめ細かな対応が示されています。

児童生徒が不登校になったとき、大きな悩みや不安を抱える保護者への支援も重要であり、将来の瀬戸内市を担う子どもたちの社会的な自立をめぐり、保護者も含めて支える体制づくりに真摯に取り組みます。

### 観光振興に関する岡山市との連携事業

昨年度から実施している岡山市との連携事業では、両市の観光資源を活かした観光振興などを進めており、宇喜多家をテーマにした事業では、ゆかりの地を巡るデジタルスタンプラリーや冊子の作成、岡山城でのイベント出展などを行いました。さらに、岡山市が宇喜多直家公などを主人

公とする大河ドラマを誘致する目的で本年11月12日に設立した「戦国 宇喜多家を顕彰する会」大河ドラマ誘致をめざして、本市も参画し、宇喜多家の顕彰を通じて、郷土の誇りを醸成することも、当連携事業を通じて本市の魅力を全国に発信していきます。

### 市民活動団体などに対する新たな支援策

今年度モデル事業として、ふるさと納税の仕組みを活用し、市内で公益性の高い活動に取り組んでいる団体の皆さんが主体的に自らの活動資金集めに関与できる制度を開始します。

この制度により、寄附者は、支援したい団体を直接支援できることになり、ふるさと瀬戸内市の活性化や課題解決に向けた取り組みの実現につながることを考えています。今後、説明会を実施し、来年度当初からの寄附受付開始を目指します。